

きしまの風

21世紀の主役たち

(発行者) 杣藤農林事務所杵島農業改良普及センター

佐賀県杵島郡白石町大字東郷2546-2

TEL0952-84-3625 FAX0952-84-6425

E-mail : kishimafukyuu@pref.saga.lg.jp

URL : <http://www.pref.saga.lg.jp/web/kishimafukyuu.html>

平成28年2月

第42号



「平成27年度TK4HアグリマネージメントCLUB冬のつどい」を、2月3日に開催しました。今年も、クラブ員や就農希望の高校農業大隊員として東日本大震災の震災復興へ行き、「食」の大切さ、「食」で人が笑顔になることを目の当たりにし、就農へのきっかけとなつたこと、そして、農業経営の難しさを感じながらも、自分の目標実現のために頑張っていることや、将来的には自分で作った海苔と米をセット販売したいなど、自らの思いを熱く発表され、最優秀賞を受賞されました。また、優秀賞には、祖父母の跡継ぎとして早く祖父に認められたいと発表された山口光希さんと会社勤めより農業の方が自分に合つてると感じ、農業で自立するため頑張っている様子を発表された久野辰也さんが選ばれました。

「地域交流プロジェクト」では武友会の江口竜左さんが、農業と福祉の素晴らしい連携、高単価軽量品目を導入し作業の幅を広げ、更に加工まで行う事で年間を通して作業をつくったこと、そして地域の未利用資源を使い加工を行うなどの多角的な活動発表を行い最優秀賞に輝きました。

最優秀賞の森さんと江口さんは2月29日に鹿島で開催される佐賀県農業青年冬のつどいで杵島地区代表として発表されます。



発表をおこないました。「農業青年の提言」では、「これから夢と希望」をテーマに3名が発表されました。白石青年実業会の森卓也さんは、自衛学生らの70名の前で、クラブ員4名が堂々とした発表をおこないました。今年も、クラブ員や就農希望の高校農業大隊員として東日本大震災の震災復興へ行き、「食」の大切さ、「食」で人が笑顔になることを目の当たりにし、就農へのきっかけとなつたこと、そして、農業経営の難しさを感じながらも、自分の目標実現のために頑張っていることや、将来的には自分で作った海苔と米をセット販売したいなど、自らの思いを熱く発表され、最優秀賞を受賞されました。また、優秀賞には、祖父母の跡継ぎとして早く祖父に認められたいと発表された山口光希さんと会社勤めより農業の方が自分に合つてると感じ、農業で自立するため頑張っている様子を発表された久野辰也さんが選ばれました。

「地域交流プロジェクト」では武友会の江口竜左さんが、農業と福祉の素晴らしい連携、高単価軽量品目を導入し作業の幅を広げ、更に加工まで行う事で年間を通して作業をつくったこと、そして地域の未利用資源を使い加工を行うなどの多角的な活動発表を行い最優秀賞に輝きました。

平成27年度

全国優良経営体表彰

農事功績者表彰 緑白綬有功章受賞

白石町 猪ノ口 操氏



昨年11月に開催された農事功績者表彰事業で白石町の猪ノ口操氏が緑白綬有功章を受賞されました。

この賞は、他の模範となる確かな農業経営を開拓されるとともに、地域のリーダーとして、産地の育成や青年農業者の育成など、農業・農村の振興に貢献された方々に対し、秋篠宮文仁親王殿下の御名により授与されるものです。

猪ノ口さんは、いち早く極早生水稻+レタス・キヤベツ体系とミカン根域制限栽培技術を導入されました。そして、稲、麦、大豆、キヤベツ、ミカン作に農産加工を加えた四季を感じるゆとりある複合経営を実践されています。

また、農産加工グループを設立し、会長として地場産品のPR、地域の活性化、所得の向上に貢献されました。県女性農村アドバイザーの会長や農協女性理事などを歴任し、女性の地位向上に貢献され、男女共同参画の推進や食育活動にも尽力されています。

個人経営体部門 農林水産経営局長賞

武雄市北方町 江口達郎氏



全国優良経営体表彰個人経営体部門に佐賀県代表として出品された、武雄市北方町の江口達郎・竜左さん親子（江口農園）が、平成27年11月10日に宮崎県庁で開催された表彰式で農林水産経営局長賞を受賞されました。

全国優良経営体表彰は、農林水産省及び全国手育成総合支援協議会が、意欲と能力のある農業者の一層の経営発展を図るため、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた農業者を表彰するもので、個人経営体部門には16都府県から16経営体が出品されました。

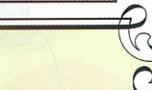
江口さん親子は、消費者・実需者の求めるものづくり、「攻めの農業」、「環境に優しい農業」を目指すとともに、障害者による6次産業化にも積極的に取り組み、障害者の就労機会を増加させるなどの農業経営ビジョンと戦略に基づき、経営発展にむけた取り組みが評価されての受賞です。

今回の表彰を励みに、今まで築き上げてきた経営方針をもとに経営基盤をさらに確立し、地域とともに江口農園を発展させていきたい」と力強く抱負を述べられていました。



個人経営体部門 農林水産経営局長賞
武雄市北方町 江口達郎氏

佐賀農業賞 受賞者紹介



地域情報コーナー

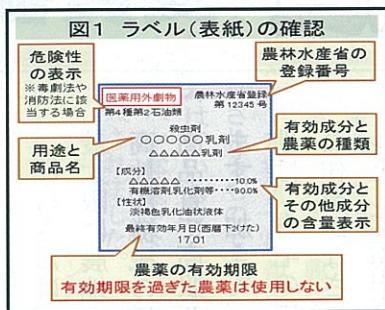


図3 間違えやすい適用作物

形が違う	ブロッコリー	茎ブロッコリー
食べる部位が違う	レタス	非結球レタス
収穫時期が違う	サトイモ	サトイモ(茎)
大きさが違う	しそ	しそ(花穂)
用途が違う	えだまめ	大豆
	ヤングコーン	未成熟トウモロコシ
	葉タマネギ	タマネギ
	トマト	ミニトマト
	ダイコン	ハツカダイコン
	食用ギク	ギク

※作物名の区分については、独立行政法人農林水産消費安全技術センターのホームページに掲載されています。

図2 ラベル(適用表)の確認

使用可能な作物 ※図3を参考	同一成分を含む剤の使用回数の限度
トマト アラムン 1,000 100~300L	前日 2回 7日 3回 総使用回数 2回
キャベツ アオムシ・コガネ 1,500	希釈倍率と散布量 本剤が使用できる回数

使用可能な収穫前日数
トマト: 収穫前日(24時間前)
キャベツ: 収穫7日前

- 4 使用履歴の記帳**
- 農薬を使用したら、「散布日時」「農薬名」「作物名」「病害虫、雑草名」「散布量」等を記帳しておきましょう。履歴を残すことでも、使用回数超過の防止につながります。もの時にも、原因究明や被害の大防止に役立ちます。



土づくりで最も有効な技術は堆肥や稻ワラ、麦ワラ等の継続的投入



農産物の安心・安全が叫ばれている中、農薬使用者には農薬の適正使用が求められています。また、県内では、平成24年から平成27年にかけて17件の農薬不適切使用が摘発されています。今一度、農薬の正しい使用方法を確認していただき、安心・安全な農産物を出荷できるよう心掛けてください。

1 ラベルの確認

使用前にはラベルを熟読し、ラベルに書いてある「使用基準(適用作物、使用時期、使用方法等)」を必ず守りましょう。(図1、図2、図3)

2 農薬の飛散(ドリフト)防止

農薬を散布する際には、周囲の作物へ農薬が飛散(ドリフト)しないように注意しましょう。

- ①作物間の間隔を十分あけた植付
- ②作物が隣接している場合は、両者に登録のある農薬を使用する

- ③無風または風が弱いときに散布
- ④外側から内側に向かって散布



近年、玉ねぎ等の露地野菜の機械化が進展したことにより、急速に1戸当たりの作付面積の規模拡大が進んでいます。こうした一方で、定植機の作業性や有機物を投入する時間的な制約などにより堆肥や稻ワラ、麦ワラ等の有機物のすき込みがなされず、地力が低下したり、土壤が細粒化し团粒構造や排水性等の土壤物理性が低下している圃場が多く見られます。このように地力が低下し、一度作物の生産性が悪くなると、速効的な対策がとりにくく、作物の生産性が改善されるまでに多くの時間と労力を要します。安定的に作物生産を行うためには、継続的、計画的に稻ワラや麦ワラの全量すき込み、堆肥による土づくりをすることがより重要となります。

普及センターではこのような問題に対応するため「白石町牛屋西分地区」をモデル地区として、個人では取り組みに限界がある玉葱の輪作や土づくりを地域ぐるみで実践できることを団地化や輪作の取り組みを推進しています。

農薬の適正使用で安全な農産物を!

あなたの園場は大丈夫?
土が泣いています!!